

藤枝 朝比奈大龍勢の仕組み学ぶ

藤枝市と静岡理工科大（袋井市豊沢）は6日、2年に一度行われる県指定無形民俗文化財で戦国時代ののろしが起源とされる朝比奈大龍勢



（10月15日）の開催を前に、龍勢が飛ぶ仕組みなどを学ぶ「あさひなっ子ロケット工学講演会」を藤枝

市岡部町新舟の市立朝比奈第一小で開いた。全校児童47人と保護者が参加し龍勢に取り付ける落下傘「つり傘」作りにも挑戦した＝写真＝。

講師を務めた同大理工学部の増田和三教授は、龍勢とロケットの類似点について「空に向かって打ち上げる」「推進を燃焼・噴出させ、その反動で飛ぶ」と紹介。その上で「その時代の人間が空に飛ばそうとして持っている技術を総動員したのが龍勢でありロケット」と述べた。